

## 第2回 鳥取市市民自治推進委員会 議事概要

1 日 時 平成24年6月22日（金） 15：30～17：40

2 場 所 鳥取市役所本庁舎 4階第2会議室

### 3 出席者

(1) 委 員 大久保委員長、池井副委員長、福島委員、竹川委員、木下委員、四宮委員、  
今度委員（順不同） 委員出席者 7名

(2) 鳥取市 安本協働推進課長、雁長協働推進課係長、井上協働推進課主事

(3) 傍聴者 なし

### 4 議 事

#### (1) 審査事項

①市民まちづくり提案事業助成金協働事業部門（行政提案型事業）交付申請団体の審査について

《1団体の申請書類及び公開プレゼンテーションによる審査》

#### 【申請団体】

1 鳥取本通商店街振興組合

#### (2) 協議事項

①先進的活動団体との勉強会について

《事務局説明》

(委員長)

まず、今日の予定の協議事項に入りたいと思う。先進的活動団体との勉強会についてということ資料3となる。

(委員)

委員長、その前に提案事業のなかのテーマ2は応募がまったくなかったということなのか。

(委員長)

問合せは数件あったが、提案そのものはなかったとうことである。非常に残念だと思う。

(委員)

これは、来年に向けて再募集されるとか考えはあるのか。

(事務局)

このたびテーマ2について提案はさせていただいたが、残念ながら応募団体がなかった。ピーアールも不足していたかもしれないが、ミスマッチであった可能性もあると考えていて、テーマ1についても1団体しか応募がなかったわけで、応募数も含めて来年度のあり方を検討して相談させていただければと考えている。また、1枠残っているが、別の課の方から異なった視点の提案について相談を受けているので、今年度間に合えば、違うテーマであらためて募集するようなご相談をさせていただければと思っている。このテーマ2での再募集については、今年度は控えさせていただこうと思っている。

(委員)

子どもが主体的にというのが難しいのだと思う。子どもが主体的でなくてもよいのであれば、子どもたちが参加して何らかの形で関わるという地域づくりであれば多様な提案の仕方もあると思う。

(委員長)

それでは、資料3について説明をお願いします。

《事務局説明》

(委員長)

それでは、先進的活動団体との勉強会ということで、大まかに鳥取市内の61地区で行われているまちづくりの取組を対象とするのか、以前提案のあったVTRによる京都の先進的な取組を勉強するか、そのあたりでご意見を伺って、市内の現状について勉強していくなら、その中でどの地区を選ぶのか、この辺の整理をしたいがどうか。

(委員)

防災関係は、防災担当課が、まちづくり協議会のなかに入って、指導・協力を行っているのか。あるいは、まちづくり協議会が独自で行われているのか。

(事務局)

まちづくり協議会が主体的に計画をされ実施しているが、防災担当部局のなかに防災コーディネーターや専門職員がいる。ここがどうであったかは把握していないが、基本的には地域から声をかけていただき、危機管理部署の専門職員が出かけて行って、地域と一緒に取組んでいる。

(委員長)

計画自体は、まちづくり協議会が策定したコミュニティ計画に基づいて、それぞれが実施するという状況だが、それをサポートするという意味で、行政の担当者に指導の要請をすればいつでも来ていただき、指導していく仕組みになっているようです。

(委員)

個人的には、さきほどの大正地区の取組を勉強してみたいと思う。防災担当課にも来てもらって。

(委員長)

平成24年3月に鳥取県が主催した「鳥取力創造まつり2012」の分科会「自治会活動～地域の絆は安心・安全なまちづくりから～」において、大正地区の取り組み事例の発表があった。地域ぐるみのよい取り組みであったと記憶している。

(委員)

事例として出ている大正とか中ノ郷だが、その活動が、まちづくり協議会ができる以前からずっと行われていた活動だったのか、それとも、まちづくり協議会ができたから、このような発展が出てきたというような要素があるのか。勉強するとすれば、まちづくり協議会を作ったことによって、どういうふうな発展性が得られたかがポイントになってくると思うが、そのあたりはどうか。

(事務局)

中ノ郷、大正については、まちづくり協議会が出来たことによって、特に中ノ郷については、新たな取組みがかなり盛り込まれている。大正についても、まちづくり協議会の設立と併行して、地域防災というのは課題であるとずっと捉えられていたと思うので、この協議会の中で、コミュニティ計画に課題としてあげられて、拡充された取組みだと理解している。

(委員長)

まちづくり協議会の設立が大きな力になっている。ただし、風土的にはずっと歴史的なものがあるなかで、取り組まれている。また、もう一つの要素は、リーダーがおられたということではないか。やるとすればどのようなスタイルのものをやるのか、今日そのあたりを押さえておかなければならない。

そういう活動の根底に流れている自治というもの、自治基本条例にそれがどういうふうにつながっているのか、どのような強化につながっているのか、表面的な行動だけでなく、それを支えている心の問題がどのようにつながっているのかについて、我々も知っておきたい。

(委員)

例えば、資料の安全・安心な地域づくりのところだと、大正、明德、湖山西、日置地区と、その下には、避難場所などを載せた防災マップについて、日進、日置谷地区とあるが、他地区でも活動は行われているが、それほどやっていないということなのか。

(事務局)

特徴的なものとしてあげているだけであり、それぞれの地域が取り組まれている。

(委員)

私の地区でも防災に取り組まれているが、このような大規模なものではない。240名も参加という規模ではない。

(委員長)

大正地区は、地形が千代川の水位と同じくらいのもので、水に対する意識は以前からもたれている。かなりまとまって大規模な訓練をやっておられるので、参考になる話が聞けるのではないかと思う。リーダーの苦労もわかるのではないかと思う。

(委員)

防災では特に、水害の方が最近関心が高くなって、昨日我々も地域で集まって話をしている、火災の方は消防法によっていろいろ懸念されているが、実際、去年も、水害対応につき、浸水したときの避難路や、集まるところとか地域でやってみたが、とても腰が浸かるようななか、何百メートルも歩いて、年寄りが行けるのかということになってくると無理がある。鳥大の教授の講習を聞いても、結局は逃げるなどと言われる。2階のあるところは上がって待っていた方がいいということらしい。ですから、今年はそれを地域にどうやって認識させるか、やり方を考えようと話をしたところである。

(委員)

水害だとか津波の際の避難は、ひざより上に来たらもうだめなので、ひざとくるぶしの間までなら何とか持ちこたえられるかもしれない。だから言われるとおりに逃げるので、しかもまだ公表されていないかもしれないが、鳥取は約6mの津波が想定されていて、中心市街地でも3mから4mくらい、つまり2階より高い位置まで水が押し寄せるとのことなので、津波とか水害に対する認識をさせるのは大変だと思う。

地震だと真下のことだけを考えていけばいいが、津波の場合は日本海全体から押し寄せてくる。

(委員長)

県が津波予想を発表されてから鳥取市も防災計画を見直して地元で説明をしているが、そのなかには大正地区について大学の指導があったように思う。富桑地区も大学の指導があったように思う。

大正地区なりいずれかの箇所を選定して、話を聞くのか。そうすれば、地域の考え方なりがわかると思う。

(委員)

活動の実績を我々も聞くと同時に、テープなりに録音させていただいて、こういう活動が必要だということで各自治体に配ってもらったらよいのではないか。まあ、去年の今年だから、もう少し防災面を考えてもらってもいいのかなと思う。

(委員)

福祉事業所がほとんど平屋である。水害のことを考えたら2階建てがいいという意見がある。

どう考えるべきか。

(委員)

大事なことは、福祉施設が地域の住民とどれだけ連携ができるかということである。いざというときに住民がどれだけ駆けつけてくれるかという体制づくり、そこがポイントで、今取り組んでいるのは、やはり地域の住民と連携しながら避難訓練をするということをやられているところが多いようである。2階は機能しない可能性があるので、ケースバイケースだとは思いますが。

(委員)

私が勤めていたところは、地域と施設との協力関係があり、年に何回かの祭りを開催したり、施設所有の体育館を地域に提供してあげたり、地域で火事があったときに真っ先に消火に当たったのが施設職員であったりとか、消火訓練とかも地域と一緒に行っていった。やはり、福祉もお金は掛かるが、2階を作ってもらわないと、補助金のなかに防災部分を加算していくというのは必要かもしれない。これはまた県の方にも話をしておきたい。

(委員)

特別養護老人ホームや老健は、地域の防災拠点になっていく。そういう調整が進められていると思うが、一般の小規模なグループホームはそういうふうには見なされていないため、あくまでも在宅の事業所であるという観点になるので、防災拠点にはなり得ていない。

(委員)

3つほど具体的な紹介をしてもらっていて、それぞれの地区のみなさんが具体的な推進のための組織づくりであるとか、地域住民の意識高揚とか、いろいろ仕組みを工夫されているが、やはり一番大変なのはそういった具体的な課題解決のために、地区なり町内での組織づくり、リーダーの存在を打ち立てていくことではないかと思う。私の地域でも2年前にボヤがあり、それが昼間だった。町内会160件で防災部もあり、ポンプもあるが、操作する人が勤めでいなくて年寄りばかりで困ったという大反省がある。防災部も組織的にはおいているが対応ができなかった。そういったことから、昼間であろうと夜であろうと、火事なり洪水なり地震なり、災害に対応できる組織づくり、あるいはリーダーの存在、普段から指導してくれる皆さん、そういう存在を見習うことが大事じゃないかと思う。そういった意味では、大正地区の皆さんが取り組まれている自主防災会未整備自治会の解消というのは、町内会でそういう組織を持っていないところを解消して、皆さんが防災体制に重点を置いて、リーダーもそれなりに町内会で出来ていますということでもいいのかなと思っていて、そういったところが見習うべきところだと思う。

(委員長)

どういうふうなテーマを絞りましょうか。

(委員)

2カ所くらい説明してもらってもいいのではないか。

(委員長)

説明して、解説して、意見交換をすれば最低でも1時間くらい見ておけばいいのかと思う。

(委員)

市街地だけではなく、新しく合併されたところの地域についてもそれぞれ問題があると思うので意見交換したい。

(委員)

それであれば、西郷地区とかは非常に頑張っておられるところですので意見交換してみてもどうか。

(委員長)

それでは、大正地区と、中山間地である西郷地区の活動報告を聞いて勉強するということが決めてはどうか。

(委員)

了解。

(委員長)

今回はそういう形で実施することとしたい。実施結果では反省点が出てくるかもしれないが。

(委員)

まず、身近な鳥取市内の事例からしっかりと把握していく必要があると思う。

(委員長)

市内全体の方向なりレベルなりをしっかりと把握しなければいけないと思うが、今回の事例報告を聞いて、しっかりと勉強するというにしたい。ただし、日程については、関係団体との調整があるので、事務局での調整をお願いする。

(事務局)

<市民まちづくり提案事業助成金協働事業部門（行政提案型事業）交付申請団体の審査結果について>

《事務局結果報告・委員コメント》

(委員長)

自治基本条例の見直しについてはどのような状況なのか。

(事務局)

6月定例会の会期中であり、来週の月曜日までとなっている。今週初めまで一般質問があり、ご覧になられた委員もあるかと思うが、質問のなかで、自治基本条例の見直しはどう考えているのかという質問があり、9月には諮問させていただきたいと答弁されており、9月には見直しについての諮問をさせていただくことになる。自治基本条例に対する運用状況、課題について、内部に照会しているところだが、もう少しまとまっておらず、本日の資料として配布できなかった点につき、お断りさせていただきたい。

(委員長)

9月に諮問があり、9月を入れて4回の委員会なので、委員会の中で対応できるのか心配しているがどうか。

(事務局)

24年度の活動計画では、通常2ヶ月に1回のペースで活動をしていただいているが、諮問をした以降については、開催回数等は弾力的に考えていただき、必要な回数を開催していくことを考えている。

ただ、そうは言っても、半月ごとに開催するというのではなく、審議スケジュール等を協議するなかで決定していくことになろうかと思う。最終的には月1回程度の開催でも可能である。

(委員)

議会での市長の答弁を確認したいので、6月議会の議事録はどのくらいでできるのか。コピーをいただきたい。

(事務局)

1ヶ月程度で作成できると思うので、出来次第委員の皆様提供させていただきたい。

(委員長)

今議会は住民投票も大きなテーマになっていたと思うので、議員の意見や市の対応を整理してみてください。

次回日程はどうか。

(事務局)

まちづくり協議会との調整が必要となるが、8月17日か24日を考えている。調整出来次第ご連絡させていただく。ただし、調整により別の日になるかもしれない。

(事務局)

ひとつご相談したい。この2つのまちづくり協議会にお願いをして、経緯につき詳しい方がいいので、そのなかでも会長又は事務局長のどちらかに説明をお願いしようと思っている。具体的にどの程度まで活動の中身を話していただいたりだとか、どの程度の資料を準備していた

だいたりするのかというようなこと、時間設定も含めてあろうかと思うので、その辺の詳細については委員長に相談させていただきながら、必要なことがあれば団体と詰めさせていただきたい。

(委員長)

実施されているイベントなどの内容、どのようなことをやっているのかということも大事だが、まちづくり協議会を動かす組織力をどのように強化・向上させておられるのか、それと、地区住民をどのように巻き込むのか、そのような仕組みがあるのか、そのあたりをいろいろ聞きたいので、そういうことも説明してほしい。

(委員)

まちづくり協議会が出来て、具体的に活動することによって、地域住民の意識がどういうふうに変化してきたのか、そういうことも聞いてみたい。

6 閉会 17:40